

備前市事務事業評価シート

<b>事業の概要</b>			
事業開始年度	平成13年度		
根拠法令・例規等	該当なし		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01 農業
事務事業名	12	農作物獣害防止施設設置事業	
問	担当課(室)	農林水産課	
合	職・氏名	管理係長 藤原弘章	
先	電話	0869-64-1831(内線233)	
	このシート作成に要した時間	0.5 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

<b>事業の目的</b>	
対象(誰・何に対して)	被害防止の為、防護柵等を設置する農業者
目的(何のために)	有害獣による農作物の被害を防止し、農業者の生産意欲の向上を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	有害獣による農作物の被害防止を図ることで農業者の生産意欲の向上につなげる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

Plan

<b>事業の実績</b>			
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	農作物獣害防止施設設置補助金	有害鳥獣による農作物等の被害防止対策として獣害防止施設を設置する農家等に対して予算の範囲内において原材料費を補助。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

Do

<b>事業費等</b>		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	1,443	1,059	1,932
	必要人員(人件費)	千円	0.13人	0.26人	1,825
	事業費計	千円	2,151	2,566	3,757
	国県支出金	千円	1,442	1,001	1,186
	受益者負担	千円			
繰入金	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	709	1,565	2,571	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	設置距離	説明	-	-	-
	結果指標量	事業	8,300	4,590	6,144
	対前年比	%	-	55.3%	133.9%
	活動コスト	円	2,151,000	2,566,000	3,757,000
単位当たりコスト	円	259	559	611	

(平成22年度事業)

<b>事業の成果</b>					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
	目標値(A)	-	-	-	-
	実績値(B)	8,300	4,590	6,144	到達目標値
設置距離	達成率(B/A)	-	-	-	-
成果指標設定の考え方・式や説明					
被害防止に向けた効率的な設置方法を指導し、地区によって異なる被害状況に柔軟に対応するため、到達目標値は設定できない。					

Check

<b>事務事業の評価</b>		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
効率性の評価	コスト		効率性評価 <A~E>
			B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E>
	市民参画度		B

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら有効性を評価

<b>進行年度(H23年度)の改革改善内容</b>						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	農業者からの要望が多い事業でもあり、前年度と同様に今後も継続していく。補助金額の拡充により被害防止に向けた効率的な設置方法を指導していく。地区によって異なる被害状況に柔軟に対応するため、到達目標値は設定できない。					

<b>総合評価</b>		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>
有害獣による農作物被害は増加傾向にあり、農業者からの要望も増えている。こうした状況の中で本事業の実施により被害防止を図ることは、農業者の生産意欲の向上を促進し、農業振興につながるものと考えられる。	B		

Action

<b>平成24年度の方向性・取組目標</b>						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	有害獣による農作物被害は増加傾向にあり、効率的な被害防止について見直しを実施する。					